

科目名 文学 時間割表記名 文学	配当時期 1年次 前期 単位数 1単位 時間数 30時間(15回)	講義担当者 小笠原 淳	
事前学習内容 事前に作品等を通読し、習得していない言葉や漢字の意味を調べ、内容を要約するなど基礎的な準備をしておくこと。			
授業目標 1. 文学作品を通して、人間の生命の尊厳や、愛の力等について人文的側面から深く考えていく。 2. 読解力と表現力、論理的な文章力を養い、小論文等で活用できるスキルを高める。			
DPとの関連 DP6. 専門職業人として責任を自覚し、広い視野にたつて物事を考え、自己研鑽することができる。			
授業の流れ			
回	学習内容	方法	備考
1	はじめに——文学について	講義	
2	魯迅「故郷」を読む	講義	
3	魯迅「故郷」の解説と分析	講義	
4	ケン・リュウ「紙の動物園」を読む	講義	
5	ケン・リュウ「紙の動物園」の解説と分析	講義	
6	グループディスカッションと発表 ① (表現力とコミュニケーション力を育てる) 授業内レポートの作成と指導(文章力をつける)	講義	レポート提出①
7	レイモンド・カーヴァー「ささやかだけれど、役にたつこと」(村上春樹訳)を読む 1	講義	
8	レイモンド・カーヴァー「ささやかだけれど、役にたつこと」(村上春樹訳)を読む 2	講義	
9	レイモンド・カーヴァー「ささやかだけれど、役にたつこと」についての授業内レポートの作成と指導	講義	
10	グループディスカッションと発表 ②	講義	
11	平田オリザ『わかりあえないことから コミュニケーション能力と何か』コミュニケーション・デザインについて	講義	レポート提出②
12	川嶋みどり『看護の力』を読む 1	講義	
13	川嶋みどり『看護の力』を読む 2	講義	
14	川嶋みどり『看護の力』を読む グループディスカッションと発表 ③	講義	
15	まとめ(45分) 筆記試験(小論文 45分)	講義 筆記試験	
受講上の注意 1. 授業で取り上げる作品は、受講生の習熟度によって一部変更することがある。 2. 筆記試験(70%)、レポート(30%)により評価する。 3. 授業では積極的にディスカッションに参加するなど、積極的な授業参加を求める。			評価方法 筆記試験 レポート 授業参加
使用するテキスト : 随時プリントで配布する。 参考文献 : 適宜必要に応じて、参考資料を用意する			